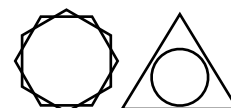


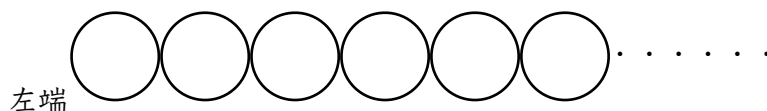
小学生4年生レベル 算数 図形問題001 三角形と四角形と円 001



小学生4年生レベルの算数の図形問題です。

問題文をよく読んで、何が問われているのかを理解して答えられるようにしましょう。

下の図のように、直径6cmの円を左端から揃えて並べていきます。



問1 円を9個並べた時の左端から右端までの長さは何cmですか。

式 $6 \times 9 = 54$ 直径6cmの円が9個 日本の教科書や学校ではこちらが良いとされる。

$9 \times 6 = 54$ 9個の直径6cmの円 答え

数学的にはこちらでも問題ない。

54cm

問2 並べた円の左端から右端までの長さが72cmになるのは、円を何個並べた時ですか。

式 $72 \div 6 = 12$

普通に割り算すればできるが、考え方の例としての式のように考えるとイメージしやすい。

$$6 \times \square = 72$$

$$6 \times 10 = 60$$

$$6 \times 11 = 66$$

$$6 \times 12 = 72$$

$$6 \times 13 = 78$$

答え

12cm

問3 円を20個並べた時の左端から右端までの長さは何cmですか。

式 $6 \times 20 = 120$

答え

120cm